2023年 Vol.9 【発行】

公共

サービス 民間労組

指定はない

ぞ」と言わ

れ

趣

旨 省 を述

厚請生の

働

カン

があ

以上発言

0

11

ての

事

同

同

### できない。 の実態を訴えた。 ということだけがクロー という趣旨よりも「効率的 管 例 アップされ、 理者制度は、「 を紹介して欲し リスク分担に

効果的

保に取り組んで的に行うなど、

んでいる。

施行状況の

確認を積極

期労

働

# 厚生労働省要

利の結果、<br/>
というできる。<br/>
というでき

受託会社が変

承するため

の法律。

競争

コスト削減

社

分割の場合の労働契約を ②労働契約継承法は、

ズ  $\mathcal{O}$ 

生労働省からは、雇用環境・ 会福祉局長が参加し 全国幹事に加えて、 実施した。 6 月 30 日 老健 労働基準局、 公共民間評議 局 厚生労働省 の担当者ら た。 門﨑 職業 社

は困難

なので、各自治体が

契約を強制するようなこと

象となっていない。

法律で

更になるような場合は、

対

書に努力義務として盛り込 業務を発注するときの仕様

が対応し、均等局、 対応した。

長が要 援していきたい。 度を周知し、取り組み むことはできないか。 ③中小企業退職共済金制 を支

はじめに、

本

議

の中で検証 次期報酬改定にむけた議論 て処遇改善は重要。 ④介護人材の 口 答に対して、 していきたい。 確保に 全国幹事 む

制度の内容や現在の 今後の見直 などを確認するとと 0 運 の期

## 厚生労働省に 要請行 動

祉 に 要請書を提 場の労働者の雇用安定と労働条件改善を要請 共民間評議会は、 出し、 委託 6 先職 月 30 場、 日 指定管理 総務省、 者職場、 厚生労働 省

場係!

長らが対

初に橋本議長が要請

6 月 30 総務省からは、 日<sub>、</sub> 総務省 ( 自海施 干 を手交し、

が明

次

通り回答した。 その後、

干場係

1

自  $\mathcal{O}$ 

1治体は、

公の施

設

行政局行政経営支援室の る橋

(右)に要請書を と費用の と協定を結ぶ場合には、 ス く必要がある。 求 ク分担に り方を十 める公共サー 望ましい。 十分に整理してお ついても盛 指定管理 ビスの水準

を遵守することは当然の ②指定管理者が労働 ていきたい 旨 法 令

指定管理者制度に関

本議長(左)



知の趣旨を徹底 知の趣旨を徹底」 る通知 な周知方法を検討していき事例を紹介するなど効果的知の趣旨を徹底し、適切なする予定はないが、2010年通る通知は、現時点では発出 する予定

り

込

IJ

者

協議できるわけ 体と指 口 答 てもに 定管理者が対等に は対等 L 実際に O関係と は、 自

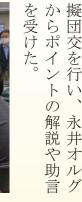
対 て全 玉 事 横井係長 (右)に要請書を手交する橋 本議長 (左)

# 団体交渉の意義」を学習

ルグから、 「団体交渉 日目は自治労本部の永 が参加した。 19日、 いて講義を受

2日目は各グルー。 永井オル 解説や助言

作成を行った。





## 模擬団交で幹事を圧倒

法制や労使交渉の留意点に比田井事務局長から、労働 最初に公共民間評議人が参加した。 山市 いて講義を受けた。 5 月 19 で 開催し、 20日 4県本部24 富山 会の [県富

架空の

合執行部の設定で、「人空の「公益財団法人」の空の「公益財団法人」の

年休取得推進」「不

その後、

グルー。

プに分か



### 労働法制を学び、団体交渉を体験

続いて、地連幹事が代

「不当労働行為

北海道·東北、北信、中国、四国 地連別の交渉力アップセミナーを実施



参加者はグルー

1日目は

地

### 2回の模擬団交を実施 I地連

28人が参加 高松市で開催 自治労本部 2 月 28 日 ~  $\mathcal{O}$ 槌田 香川 才

事による模擬団体交渉を行 2日目は参加者と 地

### 継した。「時間外労働の縮して模擬団体交渉を行い中続いて、地連幹事が代表 減と適正な手当の支払い」 業務量にみあった人員確 議長のあいさつに 「時間外労働」、「労

から全面 WEB で

日<sub>、</sub>

山市のホ 配

事の団交をWEB配